



春に三日の晴れなしと言う様ですが、一、二月は乾燥した晴れの日が多くインフルエンザ等の感染症に特に気を付けなければいけない時期でもあります。

今年は全国的に感染者数が多かった様に思います。この時期各拠点事業所では、感染症対策には特に注意し職員・ご利用者とも予防対策には気を付けております。本会、高齢事業所でも数年ぶりにA型感染者が職員・ご利用者で流行し、速やかに保健所のご指導を頂く事になりましたが、予防対策を徹底し早期の終息宣言を頂きました。自分も、うがい、手洗い、マスクの着用、玄関を出る際にアルコール消毒を必ず行っていたら、途端に手荒れがひどくなり、初めてハンドクリームのお世話になりました。しかし、時の移ろいは早く三月を迎えると、雨と晴れの繰り返しで、一雨ごとに春

に向かっていると感じる季節になりました。とは言っても、北風ビュウビュウの雨の中、愛犬との散歩は寒くてエネルギーを奪われます。吉川英治に「晴れの日は晴れを愛し、雨の日は雨を愛す」という言葉があります。散歩の時だけは雨は降らないでほしいと願っています。

さて、四月一日は新元号の発表があります。三十年間続いた平成の時代も間もなく終わります。振り返れば平成は多くの災害に見舞われた時代でもあったと思います。阪神・淡路大震災・東日本大震災と未曾有の災害を経験し、最近では北海道胆振東部地震等の地震や、気候変動に起因するとされる、大型台風を始めとする風水害に各地で見舞われ、多くの尊い命が犠牲となりました。経済・産業構造からも失われた三十年とも言われます。様々な災害にあっても力強

く復興に取り組む人たちを見ると、人間の強さ・たくましさを感じ感動することも多々あります。喜劇俳優の言葉をお借りするにはとても失礼かも知れませんが、英国の喜劇俳優で映画監督のチャールズ・チャップリンに「下を向いていたら、虹を見つけないよ」という言葉があります。五月一日には新しい元号での時代が始まります。二千二十年には東京オリピックも開催されます。昔から、時の為政者は吉兆によって元号を制定されたと聞いております。来たるべき新しい時代は、きつと、希望に満ち夢の持てる、素晴らしい時代を迎えるものと期待をしております。

(総合施設長 齊藤 操)

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鴉嶺の家（児童）

寒さも和らいできましたね。先日、梅の花が咲いている事に気づき、春が近づいているんだなあと感じました。

秋から冬にかけお友達が増え、だいぶ賑やかになりました。身体の柔らかいMちゃん、お見事！な開脚に周りから歓声があります。少々口の悪いお年頃？のHくん、ダイナミックな遊び方に年下の男の子たちは目を輝かせています。が、スタッフは時々ハラハラします。複数人でやるゲームや公園で遊んで

いる時には「こうやるんだよ！」と年下の子たちに教えてくれるお兄さんな面もあります。最近おしゃべりが一段と上手になったなと感じるNくん、先日かるたをやっていました。まだわかる字は少ないようでもなかなか取れず…初めて取ったのが「す」。ニコニコとそのカードを眺めていて、Nくんの名前に「す」が入っている事にあとから気づきました。成長して行く子ども達に感動とパワーをもたらしています。私達スタッフも負けずに日々精進し、ご家族のみなさんと協力しながら子ども達の成長にかかわってきたいと思えます。

今年度もあとわずか、慌ただしくなる時期です。卒業式、春休みももうすぐです。気を引き締めていきたいと思えます。また、鴉嶺の家（高齡・成人）の改修工事も着々と進んでいます。再開の日ももうすぐです。みなさんお楽しみにも！

（樋淵）

ぼけっと

散歩の途中、梅や桃の花を目にし、春の訪れを感じる季節となりました。しかし、花粉症の子ども達やスタッフには辛い季節ですね。皆さんはいかがでしょう。

2月は、寒い日も多かったので、節分や3月に控えたお雛様などの制作をしたり、アイロンビーズをしたり、手先を使ってみたりと遊ぶことができました。季節の制作などは、1年前と比較することができ、それぞれの成長が見られました。小学生のYさんは、昨年より複雑な折り方の鬼に挑戦し、高校生の女の子やスタッフと頑張り、1人で作る事ができるようになりました。家でも1人で折っていたと連絡帳にお母さんからのコメントがあったので、「Yさん凄いな！」と声をかけると、恥ずかしい！と照れていました。また、5、

6人の子ども達がスタッフとワイワイとお雛様をつくっている時、最初は「作る？」と聞いても指で×を作っていたS君。賑やかなのにそばで、本をみていました。しばらくして、「どっちの色にする？」と聞く。と緑色の折り紙を選び、スタッフが三角になると、手で折り目を付けて、お内裏様が手にしている笏（しやく）も緑色を選び糊付けもして完成させ飾りつけまでしています。「S君上手！」とスタッフに声を掛けられ、照れくさそうに、何もなかったかのように本を開くクールなS君。完成させるプロセスはそれぞれですが、少しでも子ども達の心の中に「できた！」「やった！」の気持ちが増え、自信へと繋がって欲しいと思えます。

（君島）

暦の上では春を迎えておりますが、寒暖の差の激しい毎日はいかがお過ごしでしょうか。

この時期はインフルエンザやノロウイルス等の感染症の流行のピークになる時期に加え、花粉症が始まっている時期なのでいつも以上に体調の管理にご留意ください。

先日、利用者の方とのお出かけで葛西臨海公園に行きました。景色がすごくきれいだっただのですが、ところどころに腐食が見られたり、以前見られたものが見られなくなったりと、時の移ろいを感じるものが多くなりました。新しいものは新しいものなりにいいのですが、そうでないものを残すことも大事だと感じました。残すのがなかなか難しいことであると思っておりますが、残して頂けると心にホッとできる瞬間があるのかなと思います。

ある時の事なのですが、千葉に利用者の方と映画を見に行つた際、利用者の方が主演俳優の真似をしてくれました。このよ

うな映像を通じて、利用者の方の心の中に伝わっていくのだなと思うと同時に、利用者の感受性の高さに驚かされました。今後、利用者の方々が持っている素晴らしい才能や能力などを自ら引き出せるようなお手伝いをさせて頂けたら嬉しいと思っております。

これからの時期は卒業などお別れのシーズンと共に入学などの出会いのシーズンにもなっていくきます。今年は平成最後ということもあって、とても盛り上がると思えますが、そういう時に今まで培ったことが現れるような支援ができれば嬉しいです。(亀山)

「おふくろに会いたい」私が担当させていただいている五十代の男性からそんな言葉を伺ったのは一月の半ばのことでした。

お正月明けに、他県で暮らしているお姉さん夫婦が久しぶりに会いに来てくださって、お母さんが入居されている隣市のグループホームにこのあと行かれると聞いたときは、とくに会いたい素振りもなかったのですが、翌週、通院のときにお会いすると冒頭の一言。ご本人は車椅子を使われていてひとりです。外出をするのは難しいため、ヘルパーさんが同行できるように移動支援の支給を市にお願いし、先方のグループホームにも連絡をして日程を合わせ、先日、ご本人とお母さんが五、六年ぶりに顔を合わせる事ができました。とはいえず、もしかしたら会ってもわからないかもしれないと、遠方の

ため同席が叶わなかったお姉さんと心配もしていましたが、決してスムーズではないもののお互いにお互いのことはわかっておられて、再会を喜んでいただけたようなのがなによりでした。隣同士の市に住まわれているおふたりですので、これを機会にまた会いに行ってくださいと思えます。また、それほど遠くない距離にいても、お互いに障害や高齢でのハンディキャップがあると、どうしても疎遠になってしまいがちなのだと改めて感じました。冒頭のご本人のひと言がなかったら、当然のように会わない時間が過ぎていってしまったのかもしれません。改めて、その方ひとりひとりの暮らしに、広い視野で携わらせていただくことの大切さを気づかせてくださいました。(東野)

ハンドワーク（生活介護）

日に日に厳しい寒さも和らぎ春の陽気を感じられるようになりました。花粉症の方は辛くなってきましたね。

さて、今月の話は毎日元気なAさん。晴れの日の日常での散歩中、花を見て「ビオラ！ビオラ！」と言っていたので、少し暖かい日にハーブガーデンへ花とケーキを見に行くことになりました。到着すると車は一台も止まっておらず、入口を見ると「定休日」の表示。ハーブガーデンを諦め、目的地を決めずに大網方面へ走りまわりました。車内では何度も同じ曲が流れながら…。サンライズ九十九里が見えてくると、「ここ！」と声がかかったので立ち寄ってみると、大きな雛壇に数多くの雛人形が飾られていました。皆さんの反応は、思ったよりも薄めでしたが、写真を撮り、次の行き先の白子方面へ向かうことになりました。

した。

以前、白子方面へ行つた際に「産業道路の」左側に河津桜の木が沢山並んでいて、咲いているときれいだよ」という話を聞いたので、産業道路をずっと真つすぐ走りました。ウトウトしている人もいれば、ずっと外を眺めている人もいます。桜を見るにはまだ早かつたらしく、つぼみすらついていませんでした。この日は、沢山の雛人形を見る事が出来たくらいで、楽しみにしていた事全て外れてしまったドライブでしたが、文句なく笑いながら「もう少ししたらまた来ようね」と楽しみにしてくる優しい皆さんです。

最近のドライブコースは、波乗り道路を通つたり、ふくおかの家へひよっこりお邪魔させてもらったりしています。良いドライブコースないかな？と探し続ける日々です。（糸日谷）

ハンドワーク （就労継続支援B型）

例年になく雪の降った日が多かった2月、気温も寒暖の差が激しかったですね。皆さまは風邪など召されていないでしょうか？就労のメンバーは、風邪やインフルエンザも蔓延することなく何とか乗り切った月でした。

さて、そんな中でしたがハンド就労にとっては大笑いした日が多かった月でもありました。まず一つ目。CDをかけて音楽を聴いていたら、「ラブストーリーは突然に」が流れてきました。Kさんに「この曲を歌っている人は誰だっけ？小田…」と聞いていたら、Yさんがすかさず「織田信長！」と言ったのです。戦国武将が脳裏をよぎり、言った本人もすぐ気づき「小田和正さん」と訂正するも後の祭。その場にいたメンバー全員大笑いでした。二つ目。泳げるかどうかの話になり、「私

泳ぐの得意」と言ったTさんに「何泳ぎが得意なの？」と聞くと、「阿波踊り」と…。ほとんどの人が違うとは思ったものの、そう聞かえてしまったので、海の中でシタバタとまるで溺れているように阿波踊りするTさんの姿を思い浮かべてしまいい、また大笑いでした。Tさん、「かえる泳ぎ」と言いたかったそう、ちょっと興奮気味に話していたので、周りの人がうまく聞き取れなかったために起きたおかしな聞き間違いでした。

就労は、働く場所。しかし、色々な人と色々な話をして、どんな事に興味があり、どんなことが得意で、どんなことを知っているのかを互いに知り合うことも、社会で必要な大事なスキルなので、おしゃべりも大事だと感じた日常の一コマでした。（豊田）

五根の家（グループホーム）

寒い日が続いていますが皆さんは元気に過ごされていますか？グループホームでは何人かインフルエンザにかかってしまった利用者さんもありましたが、肺炎など大事には至らず安心しています。まだまだ流行の季節なので利用者さんはもちろんスタツフも風邪やインフルエンザに気を付けていきたいと思っています。

2月は節分があり、豆まきをしたり、恵方巻を食べたりと利用者さんも楽しく過ごされていました。また、Kさんは最福寺の豆まきに参加され、配られたグッズを見て喜んだり、最福寺で祀られている仏像を見てスタツフに教えて下さりました。イベントがあると外へ出かけることも多くなり、利用者さんも少し外へ出かけることで気分転換にもなるので暖かくなってきたら花見などの外出行事を大切に

にしていきたいです。

今月6日に新しく利用者さんが入居されました。まだまだスタツフや環境に慣れていない様子で、リビングで皆さんと一緒に過ごすとよりはお部屋で過ごされています。こまめにお部屋へ伺い、スタツフとのコミュニケーションや関わり方を大切に一日でも早くグループホームに慣れて頂けたらと思います。利用者さんとの関わり方を大切にして、スタツフも利用者さんも楽しいグループホームにしていきたいと思っています。

（宮澤）



五根の家（小規模多機能ホーム）

2月は、お誕生日の利用者さんが一番多い月で4名いらっしゃいました。女性3名、男性1名です。女性の利用者さんにはかごに入ったお花とスタツフからお祝いのメッセージを書いた色紙を男性の利用者さんには色紙とその時の希望をお聞きしてささやかなプレゼントをご用意し、お渡ししています。

女性の利用者さんにお花を差し上げると目をキラキラさせ、とても喜んで下さいます。目に涙を浮かばせ喜んで下さる方もいらっしゃいます。今回、男性の利用者さんからは、お食事のリクエストがありました。台所のスタツフと相談し、お誕生日当日に、リクエストメニューをお出ししました。とても豪華な食事になりました。その方は、来家された時から1日中ニコニコされており、スタツフ1人ひとりに「今日、誕生日なの」と嬉しそうに教えて下さ

り終始笑顔で過ごされていました。スタツフもその笑顔で嬉しい気持ちになり、自然と笑顔になっていました。少しでも利用者さんが笑顔になつていただけるように工夫して行けたらと思います。

先日、城西幼稚園の交流会にご招待頂きました。普段、子ども達と接することがほとんどなかったので、利用者さんはとても楽しい時間を過ごすことが出来ました。五根の家に戻ってから「楽しかった。良かった。すごく良かった」「手作りのメダルをもらった」と笑顔で話して下さい、メダルを首から下げ何度もスタツフに見せて下さいました。今回ご招待して下さい、ありがとうございます。これからも地域の行事に来る限り参加して行きたいです。

（古川）

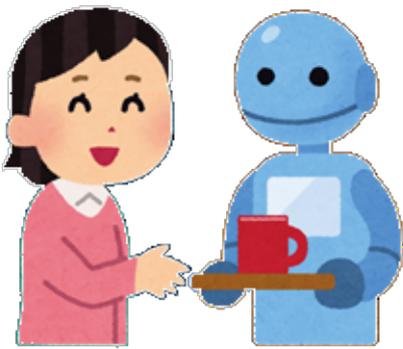


「こころん」

先日、某回転寿司チェーンに行った時の事、入店すると人工知能の搭載したロボット「ペッパー」くんが迎えてくれました。ペッパー君は店頭で来店客を迎え、座席を案内します。座席が空いたら整理券の番号を呼ぶのですが、呼んでも応答がないと躊躇なく次の客を呼びます。こんなクルールなところは人間とはちよつと違いますが、「効率」を考えるとこのクールな一面もなかなか良いのかもしれない。

今、日本では労働力不足が進み、外国人労働者の受け入れ拡大についても閣議決定されました。労働力不足の打開策の1つとして様々な分野での人工知能搭載ロボットの導入が進められています。一方でハンバーガーチェーンやコンビニエンスストアなどでは、シニア層を積極的に採用しています。た

だ、私はロボットではできない「おもてなし」の精神が好きなので、人間とロボットが共存する社会の実現が理想的だと思います。こころんにご相談いただいている70歳代後半の方が先日めでたく就労達成されました。まだ年齢の壁は厚く面接に至るまでは簡単ではなかったですが、あきらめずに就活を続けられ良い結果につながりました。元気で活躍している姿をみるととても嬉しいです。(佐藤)



まちの保育所いきりん

今年度も残りわずかになりましたね。看護師としていきりんでも働き始めて10ヶ月が経ち、大きな怪我や事故もなく元気いっぱいの子どもたちと過ごしています。ひとりひとりが自分のペースで大きく、たくましく成長した姿を嬉しく感じているこの頃です。

さて、2月に豆まきをお友達と一緒に楽しみました。一般的には大豆での豆まきだと思いますが、いきりんでは小さなお友達のアレルギーや誤嚥が心配なので、ペットボトルで作った鬼の人形をボーリングのように倒しちゃおうというものです。「鬼は外！福は内！」と、ボールを転がし無事に鬼をやっつけることができました。

この頃にはインフルエンザが猛威をふるっていましたね。いきりんでも職員の体調管理はもちろん、子どもたちの体調の変

化を見逃さないように注意してきました。また、玩具など子ども手の届くものを中心に感染源となりうる物の消毒を毎日欠かさず行なっています。最近では水疱瘡もできていますので、保護者の方には入室の際の消毒や早めの病院受診のお願いなど、お忙しい中ご理解ご協力頂き感謝しております。

残りの日々も子どもたちが健康やかに成長できますよう、健康管理のサポートをしていきたいと思えます。(市東)



五人の中学三年生が、それぞれ厳しい状況を乗り越えて高校合格を果たした。心から賞賛し、祝したい。よく頑張ったよ！高校合格おめでとう！昨年度に比べ今年の進路は多様だった。公立第一志望が三人で、内一人が公立一本、二人が私立を推さえにして受験。私立を単願で受験する子が二人いたが、前期と後期に分かれた。後期は受験準備時間確保のためだった。

公立一本の子は前期で合格。前期が不合格だったら志願変更をすると決めていただけに本当に合格が喜ばれた。公立第一志望だが私立を併願していた一人は第一志望の夢が叶ったが、一人は前期不合格で志望校は変えずに後期に再挑戦。残念ながら不合格になってしまい、決意新たに併願していた千葉市内の私立高校に手続きをした。

私立単願の二人は、共に中学三年間長期欠席者で定員割れが予想される定時制高校、通信制高校、私立高校を選択することになった。一人は試験日の一月ほど前にゆうすぽーとに駆け込んで来た子だったが姉が在学している市内の私立高校を選択した。しかし、不登校状態だったために中学校での受験準備が不可能だったので、ゆうすぽーとで必要最小限の教科学習と面接、作文練習をして挑んだ。もう一人はさんざん悩んだが、進級・卒業までのきめ細かなサポートを売りにしている同じ私立高校を選んだ。経済的には厳しいが、高卒資格を得るためにやむを得ない選択だった。

決定までの道のりが様々だっただけに、厳しい現実を目の当たりにする試練を経験したり、仲間の気持ちに寄り添う配慮をしたりと学ぶことの多い受験体験だった。(藤田)

冬の寒さがまだ残る日もありますが、春の暖かさを徐々に実感する季節となりました。花粉症の方は辛い時期かと思えます。くしゃみや鼻水に苦しまされる利用者の方々や職員を横目に、「私は花粉症ではない！」と言い張り、ムズムズする鼻とかゆい目をこする毎日です。

先日、ひなたぼっこ・椿森の庭にある夏ミカンでマーマレード作りをしました。お隣にお住いの大家さんが作り方を教えに来て下さり、利用者の皆さんも参加され、皮を剥いて切ったり、実をほぐしたりして下さいました。とても美味しいマーマレードが完成し、作り立てを皆さんと一緒に頂きました。「こういう作業も楽しいわね。」「美味しい！」など、いつも以上に会話が弾みました。また、夏ミカンの種を使って化粧水ができると教えて下さった方がいて、急遽、化粧水も作ることができました。「来年は何を作ろうか？」と皆さんで盛り上がり、今から来年の夏ミカンの収穫時期を楽しみにしています。

これから迎える桜の季節。利用者の皆さんの間では、外出行事も楽しみにされています。昨年のお花見はお弁当を持参し、天台スポーツセンターに行きました。今年は、近くの千葉公園に行く予定です。季節の変わり目、体調管理をしっかりと行い、満開の桜を楽しむに過ごしたいと思えます。(鈴江)



まちの保育所^{もく}李ば

チューリップの芽も顔を出し、日射しも暖かくなってきました。李ばも巣立ちの季節です。これも保護者の皆様や関係者の皆様のお陰と深く感謝しております。

李ばの子ども達は今、ごっこ遊びに夢中です。「いらっしやいませ」「何にしますか」「どこが痛いですか」等々、お友達と楽しそうに遊びます。相変わらずおもちゃの取り合いで泣いたり怒ったり賑やかな李ばですが、二歳児の中にはふくろう時計が「ポッポ」と鳴ったら、おもちゃを友達に貸してあげる等、簡単なルールも分かる子が出てきており、日々成長に驚かされています。

成長と言えばこんな事がありました。抱っこを毎日のようにせがんでくる一歳児に「腰が痛くて抱っこが大変」と話すと、その後も抱っこをせがむ度

に「腰痛くない?」「大丈夫?」と聞いてくれるようになりました。もう感動!!他の子ども達も、指にカットバンを貼っていると心配そうに「どうしたの?」と顔をのぞき込みます。こんなに小さくても、思いやりや労わりの心が芽生えていて嬉しくなりました。残念ながら私達は子ども達の成長を最後まで見届けられる事が出来ません。李ばを巣立つお友達、時々李ばに遊びに来て下さいね!!(鈴木)



ふくおかの家

まだまだ、寒さの厳しい日も続きますが皆さまいかがお過ごしでしょうか。

ふくおかの家は、インフルエンザ対策を行い、利用されている皆様とスタッフに感染者は出ませんでした。これからも引き続き感染症など十分に注意してまいります。

2月に入り、雪が降る日もあり、一部の皆様には送迎時間の遅延などご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。都会の人々は、雪に弱いとつくづく実感いたしました。その中、春の便りも聞こえるようになりました。庭先には、ふきのとうが芽を出し、てんぷらにして皆様といただきました。春の苦みのある味を感じていただきました。

節分には豆まきを行い、歳の数までは食べられませんでした。楽しいひと時を過ごしました。また、2月生まれの方2名の誕生会

も行いました。昭和一桁生まれの方が、勢いよくろうそくの火を消されバースデーケーキを召し上がりました。

1月末には、地元の方のご厚意により御歩射と子安講の神事に参加させていただきました。地域の昔話を聞きながら楽しくお話ができました。

2月23日は、福岡地区社会福祉協議会主催の「ふれあいお楽しみ会」にも招待され、ふくおかの家からも同地区の方が参加されました。ありがとうございました。スタッフ共々福岡地区の一員として貢献していきたいと思えます。

(佐々木)



企画・イベント情報

穂垂るの会

介護している方々が集まって日々の苦労話等を気軽に本音で話し合う会です。

日時：4月11日(木) 13時半～

会場：ふれあいセンター

2階 創作室

参加費：200円

主催・連絡先：

穂垂るの会・井上

(090-7171-1701)

ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか？旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日：4月3日(水)

4日17日(水)

10時半～12時

※興味のある方は、ご連絡下さい。

ありさ(50-0362)

「鴛嶺の家」のサービス再開について

昨年、10月1日より建物の大規模改修と防火設備の設置の工事のため、サービスを休止している鴛嶺の家について、やっとサービスが再開できる運びになりました。従来の建物がかなり老朽していたこと、近年の防火基準の厳格化等により、大規模でかつ工期のかかる工事となっていました。ただ、建物の設備や機能は、従来よりも格段に良くなるとともに、より安全に安心してご利用できる状況となりました。ご希望の方には、随時、見学なども対応していますので、ぜひご連絡いただけたらと思います。



お知らせ

スタッフ募集

子どもや障がい者、お年寄り等、人に関わる活動に興味のある方、一緒に働きませんか？

日数・時間・曜日・内容(介護・

保育・支援・食事づくり・清掃

など)・年齢等ご相談に乗ります。

※興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

(533630)

ボランティア募集

趣味や特技、仕事を通じて身につけたスキル、体力等、自分らしさを生かしたボランティア活動をやってみませんか？

ボランティア活動を通じて得られる効果は無限大です。

子どもや障がい者、お年寄り

等、人に関わる活動に興味のある方は、ぜひ当法人にご連絡ください。

ださい。

(533630)

編集後記

改修工事中だった鴛嶺の家も、いよいよ完成が近づいて参りました。本部の隣で工事をしている間、音と振動で毎日大地震を体験しているようでした(笑)4月からの新しい鴛嶺の家には是非遊びにいらしてください！(S)

総務企画課で迎えた最初の年度末です。いくつかの業務を並行して行わなければならないのですが、私はどれも結果的に中途半端になってしまいます。来月こそはできる限り一つ一つ丁寧にこなすようにします。(J)



ちばしゃ通信 (Vol.53)

発行日：2019年3月19日

発行元：ちば地域生活支援舎

編集責任者：宮下・太齋

連絡先：0475-53-3630

1Day ボランティア 募集

- 子ども達に自分の“知識”や“技術”を伝えたい人
- 子ども達と一緒に学びたいと思っている人
- 子ども達に“ご飯”や“おやつ”をつくってあげたいと思っている人
- 子どもに関わる活動をしたと考えている人
- 子ども達に「教える」とはどういうことか?を学びたいと思っている人
- 子どもに関わる仕事をしたいと思っている人
- 子ども一人ひとりに寄り添いたい!と思っている人
- 未来をつくる子ども達のために何かしたいと思っている!あなた・・・

あなたの“思い”と“時間”と“力”を少しだけ、
地域の子ども達のために活かしてみませんか?

- 活動日 月曜日・水曜日・木曜日・土曜日
- 活動時間 平常時 15:00～19:00
土曜日 13:00～17:00
祝日 14:00～18:00
長期休業(夏休み・冬休み等) ※変更になります。
- 活動内容 小学生・中学生への学習支援、学習の見守り・サポート、
社会体験のサポート、食事づくり、話相手など。
- 活動条件 毎月1回、2時間程度

お問い合わせ先

学び舎 ゆーすぽと
TEL.0475-86-6543



※東金駅より車で5分、徒歩15分